

作成日 2025/4/25

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称 :

製品名称 : ベチベルミスト プロ(VETIVERMIST PRO)

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 空間、布製品の消臭・除菌

使用上の制限 : 第7項及び16項に記載

#### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 株式会社アルサ

住所 : 福岡県福岡市博多区中洲5-5-13

電話番号 : 092-555-3371

FAX : 092-551-0870

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品のGHS分類、GHSラベル要素

##### GHS分類

##### 物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

##### 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2B

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

#### GHSラベル要素



注意喚起語:警告

#### 危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

#### 注意書き

##### 安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざげること。

容器を密閉しておくこと。

##### 応急措置

皮膚に付着した場合:水で洗うこと。

##### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別 :

##### 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
水	7732-18-5	68 - 78	既存化学物質
エタノール	64-17-5	10 - 18	2-202

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にして

います。

**危険有害成分**

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エタノール

**4. 応急措置**

**応急措置の記述**

**一般的な措置**

気分が悪いときは医師に連絡すること。

**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚(又は髪)に付着した場合**

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

**眼に入った場合**

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

**急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状**

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

**医師に対する特別な注意事項**

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

**5. 火災時の措置**

**消火剤**

**適切な消火剤**

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

**使ってはならない消火剤**

使ってはならない消火剤データなし

**特有の危険有害性**

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

蒸気は空気と爆発性の混合物を形成するおそれがある。

**消火を行う者への勧告**

**特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

**消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス等拭き取り回収する。

残りは水で洗い流す。もしくは水を含ませたウエス等で拭き取る。

二次災害の防止策

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚に触れないようにすること。

眼に入らないようにすること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。

(注意事項)

色落ち、シミの心配のあるものは目立たないところで試してから使用すること。

水に弱い素材のものに使用する場合は直接かけないこと。

人体にかけないこと。

用途以外に使用しないこと。

つめかえ後はレバーを戻し、キャップをつけること。

接触回避

強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

(避けるべき保管条件)

乳幼児の手の届かないところに保管すること。

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(エタノール)

ACGIH(2009) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

**保護具**

通常の取り扱いで使用する場合は不要。漏出時の措置等、特殊な取り扱いの場合は作業の内容に応じて保護具を使用すること。

**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具**

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

**眼の保護具**

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

**皮膚及び身体の保護具**

保護衣を着用する。

**9. 物理的及び化学的性質****基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理状態 : 液体

色 : 薄い黄褐色

臭い : 植物特有の香り

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点 : (エタノール)78°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 引火性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : (エタノール)(C.C.) 12°C【エタノール100%の場合の数値: 本製品は10~18%】

自然発火点 : (エタノール)400°C

分解温度データなし

pH : 6.1 – 6.5

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 適用外

**10. 安定性及び反応性****反応性**

反応性データなし

**化学的安定性**

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

**危険有害反応可能性**

危険有害反応可能性データなし

**避けるべき条件**

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

**混触危険物質**

強酸化性物質

**危険有害な分解生成物**

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

cat.1A; (IARC, 2010)

[IARC]

## (エタノール)

Group 1: ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

## (エタノール)

A3(2009): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[会社固有データ]

## (エタノール)

IARCでは、「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある。」としてグループ1に分類しているが、これはアルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系および肝臓のがんの因果関係を認めた為である。他方、ACGIHは、主として作業環境での有害性因子としてエタノールをA3(確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明の物質)に分類している。本製品に用いるエタノールは飲用ではなく、多量のばく露を想定する必要もないため、エタノール起因の発がん性を「区分に該当しない」とした。

## 生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

## (エタノール)

cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012

[会社固有データ]

## (エタノール)

妊娠期に大量かつ慢性的にアルコールを摂取したアルコール依存症の女性と関連して、胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られているが、産業的な経口、経皮、吸入ばく露による胎児性アルコール症候群の報告はない。また、EUでも生殖毒性がある物質としては分類されていないため、エタノール起因の生殖毒性を「区分に該当しない」とした。

## 特定標的臓器毒性

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

## (エタノール)

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

## (エタノール)

麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

## (エタノール)

肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

## (エタノール)

中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)

[会社固有データ]

## (エタノール)

ヒトでのアルコールの長期大量摂取は、ほとんど全ての臓器に悪影響を及ぼし、最も強い影響を与える標的臓器が肝臓である(DFGOT vol.12, 1999)との記載に基づき区分1(肝臓)とし、また、アルコール乱用

及び依存症患者の治療用として、米国FDAが3種類の治療薬を承認しているとの記述(HSDB, Access on June 2013)から区分2(中枢神経系)としているが、本製品に用いるアルコールは飲用ではなく、長期及び大量のばく露を想定する必要もないため、エタノール起因の特定標的臓器特性(反復ばく露)を「区分に該当しない」とした。

#### 誤えん有害性

##### [製品]

データ不足のため、分類できない。

##### [成分データ]

データなし

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

#### 水生環境有害性

##### [製品]

データ不足のため、分類できない。

##### [成分データ]

#### 水生環境有害性 短期(急性)

##### [日本公表根拠データ]

(エタノール)

藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)

#### 水生環境有害性 長期(慢性)

##### [日本公表根拠データ]

(エタノール)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)

#### 水溶解度

(エタノール)

混和する (ICSC, 2000)

#### 残留性・分解性

##### [成分データ]

(エタノール)

急速分解性あり (BODによる分解度: 89% (既存点検, 1993))

#### 生体蓄積性

##### [成分データ]

(エタノール)

log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

#### 土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

#### 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

#### 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない

正式輸送名 : 該当しない

分類または区分 : 該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エタノール(別表第9の61)

名称通知危険/有害物

エタノール(別表第9の61)

別表第1 危険物（第1条、第6条、第9条の3関係）

危険物・引火性の物 (0°C <= 引火点 < 30°C) 【エタノール100%の場合の数値:本製品は10~18%】

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

危険物【エタノール100%の場合の数値:本製品は10~18%】

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

## 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によつて改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。  
但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。